

PAT-NO: JP02003173136A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2003173136 A

TITLE: LANGUAGE ACQUISITION INSTRUCTION METHOD AND  
LANGUAGE

ACQUISITION INSTRUCTION IMPLEMENT

PUBN-DATE: June 20, 2003

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MURATA, TOGO

N/A

TAIRA, MARI

N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

MURATA TOGO

N/A

TAIRA MARI

N/A

APPL-NO: JP2001371825

APPL-DATE: December 5, 2001

INT-CL (IPC): G09B019/06

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an innovative language acquisition instruction method enabling a Japanese to think in English and surely acquire English based on a simple rule and a principle of 5W1H.

SOLUTION: The language acquisition instruction method and language acquisition instruction implement is developed for a learner to learn English, based on a language learning program in the form of spread sheet 50, using computer equipment provided with an input means and a display section. The language learning program includes a step, when optional English sentences are inputted, to divide each sentence into predetermined parts in

accordance with  
the role in the sentence and to input each of the English parts into  
a  
prescribed cell section, a step to consolidatedly display whole of  
the each  
inputted English parts on the display section, a step to display on  
the display  
section the divided English parts or a part of the English sentence  
which the  
learner wants to see according to the selection of the learner using  
the input  
means, and a step to display on the display section the whole English  
sentence  
formed by integrating each of the inputted English parts.

COPYRIGHT: (C)2003,JPO

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2003-173136

(P2003-173136A)

(43)公開日 平成15年6月20日(2003.6.20)

(51)IntCl<sup>7</sup>

識別記号

F I

データベース(参考)

G 0 9 B 19/06

G 0 9 B 19/06

審査請求 未請求 請求項の数36 O L (全 10 頁)

(21)出願番号 特願2001-371825(P2001-371825)

(22)出願日 平成13年12月5日(2001.12.5)

(71)出願人 501469733

村田 東吾

千葉県佐倉市染井野5-12-5

(71)出願人 501470441

平良 眞理

千葉県印西市高花4-3-6-201

(72)発明者 村田 東吾

千葉県佐倉市染井野5-12-5

(72)発明者 平良 眞理

千葉県印西市高花4-3-6-201

(74)代理人 100080528

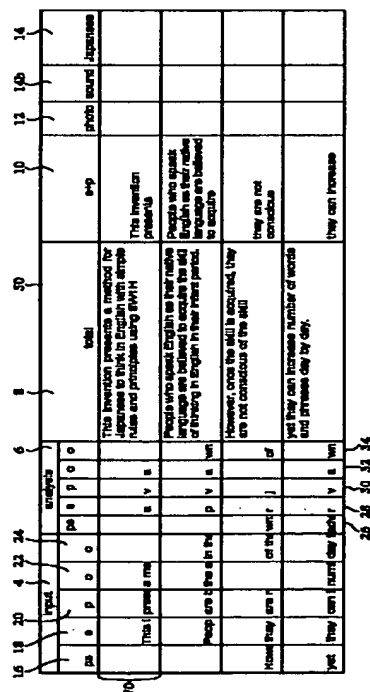
弁理士 下山 富士男

(54)【発明の名称】 言語習得指示方法及び言語習得指示器具

(57)【要約】

【課題】本発明は、簡単なルールと5W1Hの原則によって日本人が英語で考えることができ、確実に英語を習得することを可能とする斬新な言語習得指示方法を提供するものである。

【解決手段】本発明の言語習得指示方法及び言語習得指示器具は、入力手段、表示部を有するコンピュータ機器を使用しスプレッドシート50形式の言語習得プログラムに基づいて学習者が英語を学ぶ言語習得指示方法であって、言語習得プログラムは、任意の英文が入力される際、各々の英文は文中の役割に応じて予め決められた英文のパーツに分け、それら英文のパーツの各々を決められたセル部分に入力する過程と、入力された英文のパーツの各々はその全体を表示部分に集約して表示する過程と、学習者の入力手段を使用しての選択により、分けられた英文のパーツ、所望の英文の見たい部分を表示部に表示する過程と、入力された英文の各パーツを総合してできあがる英文の全体を表示部に表示する過程とを含むものである。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】入力手段、表示部を有するコンピュータ機器を使用し言語習得プログラムに基づいて学習者が英語を学ぶ言語習得指示方法であって、

前記言語習得プログラムは、

任意の英文が入力される際、各々の英文は文中の役割に応じて予め決められた英文のパーツに分け、それら英文のパーツの各々を決められたセル部分に入力する過程と、

入力された英文のパーツの各々はその全体を表示部分に集約して表示する過程と、

学習者の入力手段を使用しての選択により、分けられた英文のパーツ、所望の英文の見たい部分を表示部に表示する過程と、

入力された英文の各パーツを総合してできあがる英文の全体を表示部に表示する過程と、

を含むことを特徴とする言語習得指示方法。

【請求項2】前記言語習得プログラムは、スプレッドシート形式のものであって、英文を入力する部分がセルになっているものである請求項1記載の言語習得指示方法。

【請求項3】前記予め定めた英文のパーツは、主語、述語、目的語、条件及び主語に先立つ全ての語句である請求項1記載の言語習得指示方法。

【請求項4】前記英文のパーツは、2つ又はそれ以上の文のパーツで、これが組み立てられて、一つの文に作成され、学習者が見られるようにするものである請求項1記載の言語習得指示方法。

【請求項5】前記各セルは、これに入力した語句の数が数えられるようにするものである請求項1記載の言語習得指示方法。

【請求項6】前記主語は、これをヒト、モノ、コト、代名詞又は疑問詞に分類するものである請求項3記載の言語習得指示方法。

【請求項7】前記述語は、これが、存在を表すbe動詞、動作を表すdo動詞、状態を表す形容詞、ヒト、モノ、コト及び代名詞である請求項3記載の言語習得指示方法。

【請求項8】前記目的語は、これがヒト、モノ、コト、代名詞であり、それらを補足する語句が動詞、形容詞、名詞、代名詞である請求項3記載の言語習得指示方法。

【請求項9】前記条件は、場所、時間、理由、方法、仮定及びその他の副詞by、with、for等である請求項3記載の言語習得指示方法。

【請求項10】前記主語に先立つ語句は、これが、there、here、間投詞、接続詞、副詞の役割をする語、句、節、関係代名詞、疑問詞、疑問を表す助動詞である請求項3記載の言語習得指示方法。

【請求項11】前記入力した文に関連する内容は、これを映像で表示部に表示できるように、同一の行に新たに

セルを付け加え、そのセルと別に内蔵する映像とをリンクさせることにより、学習者が英文の内容を理解する手助けとするものである請求項1記載の言語習得指示方法。

【請求項12】前記映像は、静止画像である請求項11記載の言語習得指示方法。

【請求項13】前記映像は、動画像である請求項11記載の言語習得指示方法。

【請求項14】前記映像は、これが動画像であり、この動画像を見ることで学習者の英文の内容を理解する手助けとするものである請求項11記載の言語習得指示方法。

【請求項15】前記入力した英文は、これを音声で確認するために、同一の行に更に新たなセルを付け加え、そのセルと別に内蔵する音声機能とをリンクさせることにより、学習者が英文の内容を理解する手助けとするものである請求項1記載の言語習得指示方法。

【請求項16】前記学習者は、これが音声を聴くことで英文の内容を理解する手助けとするものである請求項15記載の言語習得指示方法。

【請求項17】前記入力した文は、これに関連する文法上の注意事項を学ぶために、同一の行に、更にセルを付け加え、そのセルをクリックすると、文法上の説明事項が表示されるようにするものである請求項1記載の言語習得指示方法。

【請求項18】前記言語習得プログラムは、入力した語句の中から条件に適合する語句を抽出するフィルター機能を更に含むものである請求項3記載の言語習得指示方法。

【請求項19】前記言語習得プログラムは、入力した語句の総数を表示できるようにする機能を更に含むものである請求項3記載の言語習得指示方法。

【請求項20】学習者が英語を習得する方法を指示できる言語習得指示器具であって、

学習者の手のひらに寄せられる位の大きさの収納容器を有し、その収納容器はキーボードのような入力手段と、表示部分とを有し、その収納容器にはコンピュータ処理機能と、言語習得プログラムが内蔵されていて、

前記言語習得プログラムは、入力される複数の文章を含み、複数のセルに予め定められた英文のパーツである語句が入力されていて、

入力手段の操作により、学習者は任意のセルに含まれている語句を表示部で見ることができ、更に文全体を含むセルにおいて、各セルの語句を集約してでき上がる文全体を表示部で見ることができるように構成されていること、

を特徴とする言語習得指示器具。

【請求項21】前記言語習得プログラムは、スプレッドシート形式のもので、各行がセルから成り立つものである請求項20記載の言語習得指示器具。

【請求項22】前記予め定めた英文のパーツは、これが、主語、述語、目的語、条件、及び主語に先立つ全ての語句である請求項20記載の言語習得指示器具。

【請求項23】前記パーツは、2つ又はそれ以上の文のパーツであり、これが組み立てられて、一つの文にし、学習者が表示部で見られるようにするものである請求項20記載の言語習得指示器具。

【請求項24】前記各セルは、これに入力した語句の数が数えられるようにするものである請求項20記載の言語習得指示器具。

【請求項25】前記主語は、ヒト、モノ、コト、代名詞又は疑問詞に分類するものである請求項23記載の言語習得指示器具。

【請求項26】前記述語は、これが、存在を表すbe動詞、動作を表すdo動詞、状態を表す形容詞、ヒト、モノ、コト及び代名詞である請求項23記載の言語習得指示器具。

【請求項27】前記目的語は、ヒト、モノ、コト、代名詞であり、それらを補足する語句が動詞、形容詞、名詞、代名詞である請求項23記載の言語習得指示器具。

【請求項28】前記条件は、場所、時間、理由、方法、仮定及びその他の副詞by、with、for等である請求項23記載の言語習得指示器具。

【請求項29】前記主語に先立つ語句は、これが、there、here、間投詞、接続詞、副詞の役割をする語、句、節、関係代名詞、疑問詞、疑問を表す助動詞である請求項23記載の言語習得指示器具。

【請求項30】前記入力した文は、これに関連する内容を映像で表すことのできるように、同一の行に新たにセルを付け加え、そのセルと別に内蔵する映像とをリンクさせることにより、学習者が英文の内容を理解する手助けとする機能を更に含むものである請求項20記載の言語習得指示器具。

【請求項31】前記映像は、静止画像である請求項30記載の言語習得指示器具。

【請求項32】前記映像は、動画像である請求項30記載の言語習得指示器具。

【請求項33】前記入力した文は、これを音声で確認するために、同一の行に更に新たなセルを付け加え、そのセルと別に内蔵する音声とをリンクさせることにより、学習者が英文の内容を理解する手助けとする機能を更に含むものである請求項20記載の言語習得指示器具。

【請求項34】前記入力した英文は、これに関連する文法上の注意事項を学ぶために、同一の行に、更にセルを付け加え、そのセルをクリックすると文法上の説明事項が表示されるようにする機能を更に含むものである請求項20記載の言語習得指示器具。

【請求項35】前記言語習得プログラムは、フィルター機能を活用し、入力した語句の中から条件に適合する語句を抽出する機能を更に含むものである請求項23記載

の言語習得指示器具。

【請求項36】前記入力した語句は、この総数を表示できるようにする機能を更に含むものである請求項23記載の言語習得指示器具。

【発明の詳細な説明】

【発明の属する技術分野】本発明は、学習者、特に日本人学習者に英語を教えるための斬新な言語習得指示方法及び言語習得指示器具に関するものである。

【従来の技術】今日の地球規模での経済活動の中で、日本人が英語を使えるように技能を獲得することはますます必要になってきている。既に、市場には日本人に英語を教えるための方法や器具は数え切れないほどある。しかし、学習の過程を通して、日本人が英語で考えるように効果的に訓練するような材料は乏しいと言える。日本人が英語を理解することは、それを聞いたり読んだりすることである。英語で表現することは現実や、写真やイメージを書いたり話したり又は日本語から英語に直すことである。会話にはこの両方の技能が必要になる。英語を理解するために必要な7つの技能(聞く、読む、見る、書く、話す、訳す、会話する)に共通することは、英語で考えることである。日本人が英語を使う場合ほとんどは日本語で考えているきらいがある。日本人が英語を学ぶ上でこれが妨げになっている。文中のどんな語や句も、5W1Hその他の要素に相当する。例えば、who、what、where、when、how、if等と、述語を修飾する語句からなる。英語を母国語とする人たちは、幼児のときに英語で考える技能を身に付けると思われる。

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、いったん英語が身に付くと、それを意識しなくなる一方で語句の数は日に日に増えてゆく。一方、英語を第二言語として習う人は、英語で考える習慣なしに語、句、文を暗記しようとする。こういった努力はたいいていの場合無駄になり、英語習得を難しいものと思わせてしまうのである。本発明は、上記従来の実情に鑑み開発されたものであり、簡単なルールと5W1Hの原則によって日本人が英語で考えることができ、確実に英語を習得することを可能とする斬新な言語習得指示方法及び言語習得指示装置を提供するものである。

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するために、請求項1記載の発明は、入力手段、表示部を有するコンピュータ機器を使用し言語習得プログラムに基づいて学習者が英語を学ぶ言語習得指示方法であって、言語習得プログラムは、任意の英文が入力される際、各々の英文は文中の役割に応じて予め決められた英文のパーツに分け、それら英文のパーツの各々を決められたセル部分に入力する過程と、入力された英文のパーツの各々はその全体を表示部分に集約して表示する過程と、学習者の入力手段を使用しての選択により、分けられた英文のパーツ、所望の英文の見たい部分を表示部に表示する過

程と、入力された英文の各パーツを総合してできあがる英文の全体を表示部に表示する過程とを含むことを特徴とするものである。請求項2記載の発明は、請求項1記載の言語習得指示方法において、言語習得プログラムがスプレッドシート形式のもので、英文を入力する部分がセルになっていることを特徴とするものである。請求項3記載の発明は、請求項1記載の言語習得指示方法において、予め定めた英文のパーツが、主語、述語、目的語、条件及び主語に先立つ全ての語句であることを特徴とするものである。請求項4記載の発明は、請求項1記載の言語習得指示方法において、2つ又はそれ以上の文のパーツは組み立てられて、一つの文に作成され、学習者が見られるようにすることを特徴とするものである。請求項5記載の発明は、請求項1記載の言語習得指示方法において、各セルに入力した語句の数が数えられるようにすることを特徴とするものである。請求項6記載の発明は、請求項3記載の言語習得指示方法において、主語をヒト、モノ、コト、代名詞又は疑問詞に分類することを特徴とするものである。請求項7記載の発明は、請求項3記載の言語習得指示方法において、述語が存在を表すbe動詞、動作を表すdo動詞、状態を表す形容詞、ヒト、モノ、コト及び代名詞であることを特徴とするものである。請求項8記載の発明は、請求項3記載の言語習得指示方法において、目的語がヒト、モノ、コト、代名詞であり、それらを補足する語句が動詞、形容詞、名詞、代名詞であることを特徴とするものである。請求項9記載の発明は、請求項3記載の言語習得指示方法において、前記条件が、場所、時間、理由、方法、仮定及びその他の副詞by、with、for等であることを特徴とするものである。請求項10記載の発明は、請求項3記載の言語習得指示方法において、主語に先立つ語句が、there、here、問投詞、接続詞、副詞の役割をする語、句、節、関係代名詞、疑問詞、疑問を表す助動詞であることを特徴とするものである。請求項11記載の発明は、請求項1記載の言語習得指示方法において、入力した文に関連する内容を映像で表示部に表示できるように、同一の行に新たにセルを付け加え、そのセルと別に内蔵する映像とをリンクさせることにより、学習者が英文の内容を理解する手助けとすることを特徴とするものである。請求項12記載の発明は、請求項11記載の言語習得指示方法において、映像が静止画像であることを特徴とするものである。請求項13記載の発明は、請求項11記載の言語習得指示方法において、映像が動画像であることを特徴とするものである。請求項14記載の発明は、請求項11記載の言語習得指示方法において、映像である動画像を見ることで学習者の英文の内容を理解する手助けとすることを特徴とするものである。請求項15記載の発明は、請求項1記載の言語習得指示方法において、入力した英文を音声で確認するために、同一の行に更に新たなセルを付け加え、そ

のセルと別に内蔵する音声機能とをリンクさせることにより、学習者が英文の内容を理解する手助けとすることを特徴とするものである。請求項16記載の発明は、請求項15記載の言語習得指示方法において、学習者が音声聴くことで英文の内容を理解する手助けとすることを特徴とするものである。請求項17記載の発明は、請求項1記載の言語習得指示方法において、入力した文に関連する文法上の注意事項を学ぶために、同一の行に、更にセルを付け加え、そのセルをクリックすると文法上の説明事項が表示されるようにすることを特徴とするものである。請求項18記載の発明は、請求項3記載の言語習得指示方法において、前記言語習得プログラムは、入力した語句の中から条件に適合する語句を抽出するフィルター機能を更に含むことを特徴とするものである。請求項19記載の発明は、請求項3記載の言語習得指示方法において、前記言語習得プログラムは、入力した語句の総数を表示できるようにする機能を更に含むことを特徴とするものである。請求項20記載の発明は、学習者が英語を習得する方法を指示できる言語習得指示器具であって、学習者の手のひらに乗せられる位の大きさの収納容器を有し、該収納容器はキーボードのような入力手段と、表示部分とを有し、その収納容器にはコンピュータ処理機能と、言語習得プログラムが内蔵されていて、前記言語習得プログラムは、入力される複数の文章を含み、複数のセルに予め定められた英文のパーツである語句が入力されていて、入力手段の操作により、学習者は任意のセルに含まれている語句を表示部で見ることができ、更に文全体を含むセルにおいて、各セルの語句を集約してでき上がる文全体を表示部で見ることができるよう構成されていることを特徴とするものである。請求項21記載の発明は、請求項20記載の言語習得指示器具において、言語習得プログラムがスプレッドシート形式のもので、各行がセルから成り立つことを特徴とするものである。請求項22記載の発明は、請求項20記載の言語習得指示器具において、予め定めた英文のパーツが、主語、述語、目的語、条件、及び主語に先立つ全ての語句であることを特徴とするものである。請求項23記載の発明は、請求項20記載の言語習得指示器具において、2つ又はそれ以上の文のパーツは組み立てられて、一つの文にし、学習者が表示部で見られるようにすることを特徴とするものである。請求項24記載の発明は、請求項20記載の言語習得指示器具において、各セルに入力した語句の数が数えられるようにすることを特徴とするものである。請求項25記載の発明は、請求項23記載の言語習得指示器具において、主語をヒト、モノ、コト、代名詞又は疑問詞に分類することを特徴とするものである。請求項26記載の発明は、請求項23記載の言語習得指示器具において、述語が、存在を表すbe動詞、動作を表すdo動詞、状態を表す形容詞、ヒト、モノ、コト及び代名詞であることを特徴とするもの

である。請求項27記載の発明は、請求項23記載の言語習得指示器具において、目的語がヒト、モノ、コト、代名詞であり、それらを補足する語句が動詞、形容詞、名詞、代名詞であることを特徴とするものである。請求項28記載の発明は、請求項23記載の言語習得指示器具において、前記条件が、場所、時間、理由、方法、仮定及びその他の副詞by、with、for等であることを特徴とするものである。請求項29記載の発明は、請求項23記載の言語習得指示器具において、主語に先立つ語句が、there、here、間投詞、接続詞、副詞の役割をする語、句、節、関係代名詞、疑問詞、疑問を表す助動詞であることを特徴とするものである。請求項30記載の発明は、請求項20記載の言語習得指示器具において、入力した文に関連する内容を映像で表示できるように、同一の行に新たにセルを付け加え、そのセルと別に内蔵する映像とをリンクさせることにより、学習者が英文の内容を理解する手助けとする機能を更に含むことを特徴とするものである。請求項31記載の発明は、請求項30記載の言語習得指示器具において、映像が静止画像であることを特徴とするものである。請求項32記載の発明は、請求項30記載の言語習得指示器具において、映像が動画であることを特徴とするものである。請求項33記載の発明は、請求項30記載の言語習得指示器具において、入力した文に音声を確認するために、同一の行に更に新たなセルを付け加え、そのセルと別に内蔵する音声とをリンクさせることにより、学習者が英文の内容を理解する手助けとする機能を更に含むことを特徴とするものである。請求項34記載の発明は、請求項20記載の言語習得指示器具において、入力した英文に関連する文法上の注意事項を学ぶために、同一の行に、更にセルを付け加え、そのセルをクリックすると文法上の説明事項が表示されるようにする機能を更に含むことを特徴とするものである。請求項35記載の発明は、請求項23記載の言語習得指示器具において、前記言語習得プログラムのフィルター機能を活用し、入力した語句の中から条件に適合する語句を抽出する機能を更に含むことを特徴とするものである。請求項36記載の発明は、請求項23記載の言語習得指示器具において、入力した語句の総数を表示できるようにする機能を更に含むことを特徴とするものである。以下、本発明について更に詳述する。本発明は、学習者が英語を習得するにあたり言語習得指示器具を使う方法に関するものである。まず、スプレッドシート形式のような言語習得プログラムを用意する。英文を入力するに際し、各々の英文は文中の役割に応じて予め決められた英文のパーツに分けられる。それら英文のパーツの各々は、スプレッドシート上の決められた部分に入力される。言語習得プログラムでは、入力されたパーツの各々はその全体を別の表示部分に集約して表示できるようにしている。結果として一つの文として学習者に見える

ようにする。また、この言語習得プログラム上では、キーボードやマウスのような入力手段を使用して入力した英文のパーツのどれでも選択できる様になっている。学習者は見たい英文の見たい部分を自由に選ぶことができ、かつ表示部分で見ることができる。更に、学習者は入力された各パーツを総合してできあがる英文の全体を表示部分で見ることができる。上述のように、本発明の言語習得プログラムは、スプレッドシート形式のプログラムであり、入力に使われるフィールドはスプレッドシート上のセルに相当する。本発明で、予め決められた英文のパーツとは、主語(s)、述語(p)、目的語(o)、条件(c)及び主語に先立つ語句(pre-subject=ps)のすべてを指す。2つ又はそれ以上のパーツからなる文の語句は、集約されて表示部分に表示され、学習者が見ることができるようになる。各入力分野において、入力された語句で異なるものの数が計算される。各分野を選ぶとその計算結果が表示される。本発明によれば、主語は人(p)、モノ(t)、コト(a)、代名詞(p)等に分けられる。述語は、存在を表す動詞(be)、動作をあらわす動詞(v)、主語の状態を表す形容詞(j)、モノ(t)、コト(a)、代名詞(p)等に分けられる。目的語は、人(p)、モノ(t)、コト(a)、代名詞(p)等に分けられる。条件は、場所(wr)、時間(wn)、理由(wy)、方法(hw)、仮定(if)、with、by、for等に分けられる。主語に先立つ語句(ps)は、there is、here is、間投詞、語、句、節の形をした副詞、接続詞、疑問詞、疑問文を作る助動詞、関係代名詞等である。本発明による言語習得プログラムには、入力した英文に係わるフィールド(セル)上に映像(静止画又は動画)を組み込むようにすることもできる。関連する文の実質的な内容を表示するような映像を組み込めば、学習者は、関連する文を学ぶ作業の一部として、その映像を見ることができる。同様に、本言語習得プログラムには、入力した文に係わるフィールド上に音声を組み込むこともできる。入力された文を発音する音声を組み込めば、学習者は関連する文を学ぶ作業の一部としてその音声を聴くことができる。同様に、入力した文に係わるフィールド上にその文の文法上の注意事項等を組み込むこともできる。本言語習得プログラムは、フィルター機能を利用して、入力された全ての文から成り立つデータベースから選択された項目を抜き出すことができる。フィルターをかけるときは、入力したフィールドのうちのどれか一つを選ぶことができる。本言語習得プログラムは、計算機能を利用して、学習者の指定する入力フィールドから各パーツ中の語句の数を計算して表示することができる。本発明は、通常のPC端末(パーソナルコンピュータ)上で操作することだけではなく、表示部や操作のためのキーを備えた手のひらに乗るくらい

アシスタント(PDA)又はゲーム機等を、後記図5に示すような携帯用の言語習得指示器具として使用可能である。

【発明の実施の形態】以下に、本発明の言語習得指示方法及び言語習得指示器具の実施の形態について詳細に説明する。図1は、本実施の形態の言語習得指示方法における例文4つを含むスプレッドシート50のレイアウトを示すものである。このレイアウトは、図4に示す学習者が使用するPC端末52の表示部53又は詳細は後述する図5に示す携帯用の言語習得指示器具100上の表示部111に表示される。学習者が使用するPC端末52は、実用的には、今日普通に手に入るパソコンであり、例えばマイクロソフト社のエクセルのスプレッドシート50が利用できる。このスプレッドシート50を使用すれば、実際に使える表示部53の状況に応じて、学習者はいろいろなフィールド(セル)を拡張したり、圧縮したりできる。多数のフィールドが盛り込まれているために、スプレッドシート50全体を見たい場合にも多数のフィールドの幅を縮めることができる。逆に、見たいフィールドを選んで通常知られている機能で拡大することもできる。即ち、見たいフィールドの境界を入力手段であるマウスで引っ張ればよい。図2、図3は各々フィールドの中身を見られるように図1に示すスプレッドシート50の複数のフィールドを拡大した例を示すものである。図2は主にプリサブジェクトフィールド16、主語フィールド18、述語フィールド20を示したものであり、図3は主に目的語フィールド22、条件フィールド24を示したものである。図1に示す前記スプレッドシート50は、入力フィールド4、分析フィールド6、全文表示フィールド8、主語と述語の組み合わせのフィールド10、イメージフィールド12、日本語フィールド14、音声フィールド14bを有するが、これらのフィールドに加えて必要ならばいくらかでも新規なフィールドを付け加えることができる。前記入入力フィールド4は、プリサブジェクトフィールド16、主語フィールド18、述語フィールド20、目的語フィールド22、条件フィールド24からなる。前記分析フィールド6は、プリサブジェクトコラム26、主語コラム28、述語コラム30、目的語コラム32、条件コラム34からなる。本実施の形態を全文表示フィールド8にある例文を使って説明する。この例文は、

This invention presents a method for Japanese to think in English with simple rules and principles using 5w1h.

である。この例文は以下のように分けられる。

presubject(ps):...

subject(s): This invention

predicate(p): presents

object(o): a method for Japanese

to think in English with simple rules and principles

ples using 5w1h.

condition(c):...

これらの文の各部分は、図1に示すような適切な全文表示フィールド8に入力される。もし、文が特定な部分を含まない場合は、上述の例ではpresubjectとconditionは文に含まれていないので、そのフィールドは空白のままとする。s+pフィールド10は、主語と述語を集約することにより主語と述語の組み合わせとして表示できる(即ちThis invention presents)。イメージフィールド12は、適切なイメージファイルを使うと、学べき文の伝えるメッセージを学習者に目に見える形で表示できる。例えば、文が、The dog was barking at childrenのような場合、犬が子供に向かって吠えている様子をハイパーリンクの技術を使って容易にイメージフィールド12に挿入することができる。同様に、学習者の母国語への翻訳文を学習の補助手段として日本語フィールド14に挿入できる。これにより、学習者は、クリック一つで英語と日本語の両方でメッセージを学ぶことができる。分析フィールド6は、学習者が文章を学ぶときの手助けとして、入力された文のパーツを特徴づけるために使用される。例えば、前記例文の学習者は、主語コラム28にaを入力する。これは、文の主語がコト(thing)を表しているので、その頭文字をとってaとする。文のフィールド70を読む学習者は、主語コラム28の主語aを見ることにより主語this inventionがコト(ヒトやモノではなく)を指していることを知る手がかりを得る。分析フィールド6での他の項目は、モノに対するt、ヒトに対するp、代名詞rである。図6は分析フィールド6に関連して使用されるドロップダウン機能の使い方を示すものである。ドロップダウンフィルターリスト60は、学習者が選ぶ要素を含む文のみを選択するときに使用される。例えば、学習者は、主語のリストのうち要素pを選ぶと、主語がpである文章のみを選択して表示する。これによって、学習者はある分野の文章を集中的に関心を持って認識できる。述語の部分については以下のような分類が可能である。

存在を表すbe動詞:b

動作を表す動詞:v

ヒト、モノ、コトの状態を表す形容詞:j

ヒト(p)、モノ(t)、コト(a)、代名詞r

このようにして、教材提供者又は学習者自らが、文の述語部分を分析し、述語コラム30に入力し、フィルターのように使用できる。同様に、目的語についても目的語コラム32に以下のような分析項目に従った入力を行う。

ヒト(p)、モノ(t)、コト(a)、代名詞r

更に、条件部分についても、条件コラム34等にその条件の数に応じて略号を入力する。場所wr、時間wn、理由wy、方法hw、仮定if、by、with等々で



ある。これにより、学習者は例えば場所に関するさまざまな表現を収集するだけでなく、必要に応じてその中から適切な表現を選び出すことができる。前記スプレッドシート50を用いるこの言語習得プログラムは、上述のようにいくらかでも文やそのパーツを加えてゆくことができる。このようにして、予め文章が入力され、分析の済んだテキストを学習用に使うとともに、自分の収集する文章を入力するための基本ソフトウェアプログラムを使用することにより、生涯にわたって英文の収集を行い、蓄積することにより記憶だけに頼る従来の学習法にない便宜を得ることができる。図4に示す如く、学習者は自己のPC端末52からインターネットN上でサーバーコンピュータ51に接続し、言語習得プログラムをダウンロードしたり、最新のものに切り替えたりすることができる。また、図5に示す如く、学習にあたり携帯用の言語習得指示器具100を使用することもできる。これは手のひらに乗るくらい大きさで、表示部（ディスプレイ）111や表示内容を上下左右に動かすことのできる入力手段であるキーボード112を言語習得指示器具100の表面に付けたもので、メモリカード（ランゲージインストラクションモジュール）113に予め記憶した言語習得プログラムを読み込み、この言語習得プログラムに基づき、キーボード112の操作で表示部111に各セルの語句及び文全体を表示して学習したり、関連する映像を表示したり、訳文の表示、文法上の説明、文章の分析の状況を表示したりすることが可能なものである。更に、スピーカ部114から表示部111に表示する文章に対応する音声を発声することも可能となっている。即ち、スプレッドシート50の同一の行に更に新たなセル14bを付け加え、そのセル14bと別に内蔵する音声とをリンクさせることにより、学習者が英文の内容を音声で理解する手助けとする構成とすることもできる。更に、入力した英文に関連する内容を映像で表すことのできるように、スプレッドシート50の同一の行に新たにセルを付け加え、そのセルと別に内蔵する静止画像又は動映像のような映像とをリンクさせることにより、学習者が英文の内容を理解する手助けとする構成とすることもできる。また、入力した英文に関連する文法上の注意事項を学ぶために、スプレッドシート50の同一の行に、更にセルを付け加え、そのセルをクリックすると文法上の説明事項が表示されるようにする構成とすることもできる。また、前記言語習得プログラムのフィルター機能を活用し、入力した語句の中から条件に適合する語句を抽出する機能を持たせたり、入力した語句の総数を計算し、表示部に表示するプログラムを組み込んだ構成とすることもできる。

【発明の効果】本発明によれば、入力手段による入力操作だけで日本人が英語で考えることができ、確実に英語を習得することを可能とする斬新な言語習得指示方法を提供することができる。また、本発明によれば、入力手

段による簡略な入力操作だけで日本人が英語で考えることができ、確実に英語を習得することを可能とする手のひらに乗せることができるサイズの斬新な言語習得指示装置を提供することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態の例文を4つ含むスプレッドシートの一例を示す図である。

【図2】本実施の形態のスプレッドシートのプリサブジェクトフィールド、主語フィールド、述語フィールドを拡大して示す図である。

【図3】本実施の形態のスプレッドシートの日本語フィールド、条件フィールドを拡大して示す図である。

【図4】本実施の形態の言語習得指示方法を実現するネットワークコンピュータシステムを示す概略構成図である。

【図5】本実施の形態の英語習得プログラムを搭載した言語習得指示器具の外観を示す斜視図である。

【図6】本実施の形態におけるコンピュータ画面上で蓄積された情報をデータベースとして、データから必要な情報を引き出すためのドロップダウン機能をかけている状態を示す説明図である。

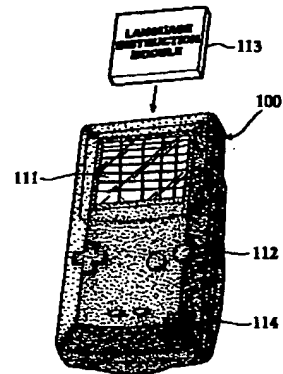
#### 【符号の説明】

4 入力フィールド  
6 分析フィールド  
8 全文表示フィールド  
10 組み合わせのフィールド  
12 イメージフィールド  
14 日本語フィールド  
14b 音声フィールド  
16 プリサブジェクトフィールド  
18 主語フィールド  
20 述語フィールド  
22 目的語フィールド  
24 条件フィールド  
26 プリサブジェクトコラム  
28 主語コラム  
30 述語コラム  
32 目的語コラム  
34 条件コラム  
40 50 スプレッドシート  
51 サーバーコンピュータ  
52 PC端末  
53 表示部  
60 ドロップダウンフィルタリスト  
70 フィールド  
100 言語習得指示器具  
111 表示部  
112 キーボード  
114 スピーカ部  
N インターネット

【図1】

input					analysis									
16	18	20	4	22	24	6	8	50	10	12	14b	14		
pe	a	p	o	c		pe	a	p	o					
This I present					total					s+p				
This I present					This invention presents					photo sound Japanese				
People who speak English as their native language are believed to acquire the skill of thinking in English in their infant period.					People who speak English as their native language are believed to acquire									
However, once the skill is acquired, they are not conscious of the skill					they are not conscious									
yet they can increase number of words and phrases day by day.					they can increase									

【図5】



【図2】

input		
16	18	20
pe	a	p
This invention		presents
People who speak English as their native language		are believed to acquire
However, once the skill is acquired, they		are not conscious
yet		can increase

【図3】

analysis	
22	24
o	o
a method for Japanese to think in English with simple rules and principles using SWIH	a v a
the skill of thinking in English	p v a wn
of the skill	wn r j of
number of words and phrases	adv r v a wn

【図4】

